

(注) 佐世保市が年度当初に収集した情報を掲載しているため、最新の状況や各施設の HP とは異なる場合があります。
利用料やその他実費等については、必ず各施設にご確認ください。また、必ずご見学ください。

2026

認定こども園(幼稚園型)

大宮幼稚園

にじのゆめ保育園

所在地: 白岳町148-5

【施設の概要】

設置・運営	学校法人 古賀学園
園 長	古賀 久貴
T E L	32-1404
F A X	32-2844
H P	https://www.ohmiya.ed.jp
認可年月日	認定こども園 H27.3.31
建 物	構 造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 2～3 階建 整備年月 (築年数) S61年・H26年
敷 地 面 積	2949.92 m ²
延 床 面 積	2096.32 m ²

【受入状況】

利用定員	205名
受入年齢	6ヶ月から
利用区分 (定員)	1号 〇 75 2号 〇 100 3号 〇 30
平日:開園時間	7:30～19:00 (教育時間10:00～14:00)
土曜:開園時間	7:30～18:30 (教育時間 —)
休 園 日	日曜・祝日・12/29～1/3
給 食 費	[副食費]月額:1号 4,500円/2号 5,000円 [主食費]月額:2,100円 (希望者のみ)

【利用可能サービス】

延長保育	(2号)18:31～19:00 /1日:250円
一時預かり 自主事業	園児1日:450円 *土曜:1日:800円 *8hを超えた場合 100円加算 (上限900円) 園児以外1日:1,800円 12か月～2歳 9:00～17:00 給食あり 3歳以上 お弁当持参
休日保育	—
障がい児受入	有 (受け入れ状況は園へ確認下さい)
通園バス	有/月額:2,100円
誰でも通園制度	有り

【子育て支援】

園舎開放	〇	園庭開放	〇
子育て相談	〇		

【その他】

給 食	アレルギー対応 調理状況 施設内調理	〇
お む つ	布または紙 おむつの持ち帰り おむつのサブスク	どちらでもOK 布のみ持ち帰り なし
保護者会	有:500円/月	

Map 認こ 11



交通

【バス】沖新町入口バス停 / 徒歩1分

【入所状況】R8.5現在

年 齢	人 数		
	1号	2号	3号
乳 児			3
1歳児			20
2歳児 (満3歳)	1		20
3歳児	17	30	
4歳児	22	29	
5歳児	15	38	
合 計	195		

【職員数】R8.5月現在

職 員	人 数
園 長	1
副園長	0
主幹教諭	2
教 諭	20
保育士	4
保育補助	8
看護師	1
その他	15
合 計	51

★★教育・保育目標★★

- ◎基本的な生活習慣、態度を身につけることで、心身両面からの「健康」の基礎をつくります。
- ◎様々なコミュニケーションを通じ、愛情や信頼感、また自立や協調、道徳心などを引き出します。
- ◎物や自然、動物との触れ合いによって好奇心や探求心を刺激し、豊かな心情や思考力を高めます。
- ◎言葉や文字を理解する喜びを知ることで、感情豊かに「話す・聞く」力を育みます。
- ◎多彩な体験を通して、豊かな感性を磨き個性と創造性を育みます。

★★年間の主な行事★★

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 4月: 入園式・コネクトミーティング 歓迎遠足 | 11月: 七五三・芋ほり |
| 5月: 芋さし・ファミリー参観 交通安全指導 | 12月: クリスマス会・もちつき にこにこ発表会 |
| 6月: 田植え・どろんこ遊び プール参観 | 1月: 人形劇観劇 |
| 7月: セタ・お泊りキャンプ | 2月: 節分・たこあげ プール参観 |
| 9月: ファミリー参観 | 3月: ひな祭り・卒園式 思い出レクリエーション |
| 10月: どんぐり拾い・山登り 稲刈り・運動会 | |
- 随時園外保育 (公園・森きらら・海きらら)

放課後 (希望者のみ習い事有あり)
ピアノ・ダンス (ヒップホップ)・英会話・体育教室

【園の1日】 概ねの1日です

7:30	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:30	19:00	外部講師
随時登園	1号登園 荷物整理	自由活動	朝の会 クラス活動		給片付け	活動 あそび	1号降園 一時預かり	おやつ	随時降園 自由活動		延長保育	延長終了	お茶/年7 体操/月2



認定こども園

大宮幼稚園

OHMIYA KINDERGARTEN



園のご案内

**やわらかな心をもった子どもたちの明日を
大きく、深く、豊かな愛情でしっかりと支えたい。**

好奇心にあふれ、あらゆる可能性を秘めた子どもたち。家族との暮らしから一歩踏み出し、幼稚園という場で、子どもはさまざまな「はじめて」を経験します。そして、その体験・経験から、自分なりの答えを見つけ、知性や感性を育んでいきます。

私たちの役目は、子ども自身の「個性」という宝物をしっかりと見つめ、より多くの、そして有意義な体験の機会を作ってあげること。何かを「教える」のではなく、実体験によって子どもの可能性を引き出し、信じ、見守っていくことを基本としています。人格形成に関わる重要なこの時期だからこそ、「押し付け」ではない「本物の導き」を実践していきたい。

私たちは、そのためのあらゆる努力を惜しみません。



5才児作品「ねこ」

■5つのポリシー



● 心身の健康

基本的な生活習慣、態度を身につけることで、心身両面からの「健康」の基礎をつくります。

● 人とのかかわり

様々なコミュニケーションを通じ、愛情や信頼感、また自立や協調、道徳心などを引き出します。

● 環境とのかかわり

自然や動物とのふれあいによって好奇心や探究心を刺激し、豊かな心情や思考力を高めます。

● 言葉・文字

言葉や文字を理解する喜びを知ること、感情豊かに「話す」「聞く」力を育みます。

● 感性と表現

家庭ではなかなかできない多彩な体験を通じて、感性を磨き、個性と創造性を育みます。

**子どもの世界の、豊かな感性や視点。
そこにある輝きを、決して奪わない保育。**



人が人として生きていくために、たくさんのルールやマナー、知恵が必要です。大人は子どもにそれを教える義務と責任があり、幼稚園はその最初のステージといえるかもしれません。しかし、この時期に一番大切なのは、それらの背景にあるものを、子ども自身で考え、理解することにあるのではないのでしょうか。子どもは、子どもなりの世界観を持って行動しています。大人にとっては未熟で頼りない存在でも、五感をフルに働かせ、小さな頭で考え続けているのです。行動を矯正し、大人にとっての「良い子」を作り出すのはある意味では簡単なことです。しかし、子ども自身の内なる力によって生まれた変化こそを、私たちは「成長」「学び」と呼びたいのです。